

# チェチーリア・バルトリ

ソプラノ Cecilia Bartoli

世界で「人気No1」のソプラノ、  
2回目となる来日公演は、チョン・ミョンファンとのデュオ・リサイタル

取材文=中 東生



「日本はずいぶんご無沙汰していたので、早くみなさんに会いに行きたくて仕方ありません。日本の皆さんは、とても温かく、大変な注意を払って音楽を聴いて下さいます。私は日本食ファンなので、食べるのもとても楽しみです。イタリア人は自分の国の料理に異常なほどの誇りを持っているので、イタリア料理を抜かせば、日本料理が一番！今回のツアーでも、各地でイタリアン・レストランが見つからない時は、必ず日本料理店に行きました（笑）」と語るバルトリ  
【日本公演詳細】「チェチーリア・バルトリ&チョン・ミョンファン デュオ・コンサート」  
〈日時・場所・問合せ〉3月21日（サントリーホール/03・3496・2550）、24日（愛知県立芸術劇場/03・3496・2550）、27日（東京オペラシティ/03・5353・9999）〈共演〉チョン・ミョンファン（p）※詳細は、別冊「コンサートガイド」参照。©Claudia M.Bischofberger

チェチーリア・バルトリの再来日  
がやっと実現する。このビッグ・ニ  
ューズが公にされた直後、チェーリ  
ヒのトーンハレで3年ぶりに行われ  
たりサイタルの翌日、彼女にインタ  
ビューをすることができた。

リサイタルのプログラムは、CD  
「禁じられたオペラ（ユニバーサル・  
ミュージックより）から抜粋された  
ものが多く、スカルラッティ、カル  
ダーラ、ヘンデルの3人の作曲家の  
曲が前後半共に組まれている。冒頭  
から得意のコラトウーラで聴衆を  
惹き付けたかと思うと、すぐに次の  
曲ではしつとりと歌いあげる。即の  
紧迫感が素晴らしく、声を巧みに操  
って、繊細な織物を作り上げている  
かのようだった。特にア・カペラ部  
分では、会場全体が息をのんで聴き  
入っていた。そして大喝采とアンコ

ールが延々と繰り返され、エンドレ  
スなコンサートになった。

● 昨日は本当に素晴らしいかったで  
す。会場全体が興奮の渦でした。  
バルトリ（以下B） ありがとうございます。  
このプログラムはコンサ  
ト・ツアーとして、カナダを皮切り  
に、アメリカの主要都市を回って来  
ましたが、いずれの地でも、昨日の  
ような大成功を取ることができま  
した。一緒にツアーに参加してくれ  
たオーケストラ「ラ・シンテッラ」  
の高度な技術も成功の大きな要因で  
す。このオケはチェーリヒ歌劇場で  
70年代にモンテヴェルディ特集を取  
り上げた時に結成され、アーノンク  
ールのモーツァルト・オペラ・シリ  
ーズにおいて、より発展したもので  
す。1996年から独自のアンサン

ブルとして活動し、団員はバロック  
から現代音楽までの広いテクニク  
を持った素晴らしい音楽家たちです。  
日本でのリサイタルも、そのア  
ルバムの中から歌われますか。  
B 今回、東京では2回のコンサ  
トがあるので、ドイツとイタリアの  
ロマン派初期に分けて、2つのプロ  
グラムを持って行きます。ドイツの  
方は、もちろん生涯250年のモー  
ツァルト、シューベルト、ベートー  
ベン、そしてロッシニーやペツリー  
ニ、フランスものも加えます。イタ  
リアの方には、今回のカルダーラ、  
スカルラッティを入れますが、この  
オーケストラではなく、マエストロ・  
チョンのピアノとの共演なので、ロ  
マン主義のバリソツティ版です。そ  
の他ロッシニーも歌います。

——ともすると退屈に陥ってしまっ  
た。バロック音楽を、体全体を動かして  
楽しそうに歌っていらっしやるので、  
客席まで高揚してきます。

B しっかりした声楽的技術を身に  
つけ、準備も万端にしていますので、  
本番は音楽を楽しむことができます。  
そして、バロック音楽特有の色を、  
アクセントやフレーズで与える  
研究をしています。

——あなたはお母様からその技術を  
学ばれたのですか。  
B 両親はスボレート音楽祭で賞を  
取るくらい歌手でした。

——そういう「両親の元に生まれ、  
8歳で《トスカ》の舞台上に立ち、歌  
のない人生は考えられないでしょう。  
B 確かに、歌のない人生は考えら  
れませんが、母のお腹にいる頃から  
歌を聴いていたので、歌うことだけ  
でなく、聴くことも大好きです。

——それで歌手のパートナーがい  
らっしゃるのですか。  
B 2人で一日中歌っているわけ  
はありませんよ（笑）。同じ職業を持  
っている、感動を分かち合えるの  
が、楽しいのです。

——お母様と同じく、母親になるな  
んてことは考えませんか。  
B そんな事が起こったら嬉しいで  
すが、今のところ起こっていません  
（笑）。私の両親は平凡な農家の出で、  
敗戦後の大変な時期に3人の子供を  
抱えていたので、家族に比重をかけ  
るより他の選択肢はありませんでし  
たが、今の時代は違い、母親業と歌  
手は両立できますからね。